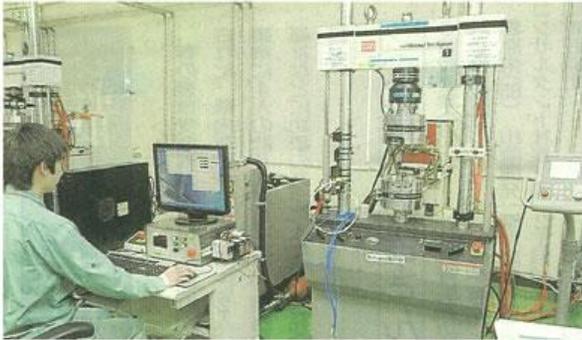


キグチテクニクス(安来)金属試験で国際認証 航空機産業に本格参入へ 山陰2例目取得

山陰中央新報 2010年(平成22年)4月28日(水曜日) 山陰 24



国際特殊工程認証プログラム(Nadcap)取得に伴い力を入れる疲労試験の機械—安来市恵乃島町、キグチテクニクス

キグチテクニクス(安来) 金属試験で国際認証

航空機産業に本格参入へ

山陰2例目取得

金属部品や材料の試験評価を行うキグチテクニクス(安来市恵乃島町)が、航空機産業向けの国際特殊工程認証プログラム(Nadcap)を取得した。材料試験所としての同認証取得は国内で7社目となり、市場拡大が見込める航空機産業へ本格参入する。

Nadcapは世界の航空機、エンジンメーカーが参加する業界団体が認証。航空・宇宙関連製品の溶接や熱処理、非破壊検査など特殊工程を含む製造に携わるのに必須とされる。同社は、部品や材料の強度、品質などを検査する試験素材の切り出しから加工、解析評価までの一貫受託体制を確立。昨春にはNadcapの前提条件となる航空産業向けの品質マネジメント規格などを取得し、準備を進めてきた。

金属部品や材料の試験評価を行うキグチテクニクス(安来市恵乃島町)が、航空機産業向けの国際特殊工程認証プログラム(Nadcap)を取得した。材料試験所としての同認証取得は国内で7社目となり、市場拡大が見込める航空機産業へ本格参入する。

Nadcapは世界の航空機、エンジンメーカーが参加する業界団体が認証。航空・宇宙関連製品の溶接や熱処理、非破壊検査など特殊工程を含む製造に携わるのに必須とされる。同社は、部品や材料の強度、品質などを検査する試験素材の切り出しから加工、解析評価までの一貫受託体制を確立。昨春にはNadcapの前提条件となる航空産業向けの品質マネジメント規格などを取得し、準備を進めてきた。

Nadcap取得により、従来の研究開発用の材料試験から、製品出荷ベースでの受注が可能となり、エンジン関連を中心に国内重工業大手との取引拡大を狙う。特に疲労試験は国内で2社目の認証を受けており、これまで海外に流れていた分の取り込みも含め、需要が見込めるという。

国内の航空機産業は、中小型の国産ジェット機の開発や、ボーイングをはじめ大手の外注生産拡大で成長分野とされる。同社は年内にも、産業集積地の中部圏域に営業拠点となる事業所を開設し、航空機関連で現在約5千万円の年間売り上げを、3年後には3億円に引き上げる計画。木口順一郎総務部長は「国内での実績を基に、将来的には海外取引も進めていきたい」としている。

Nadcap日本事務所(愛知県春日井市)によると、山陰での認証取得は日立金属安来工場(同市安来町)に次いで2例目となる。

Nadcaps取得により、従来の研究開発用の材料試験から、製品出荷ベースでの受注が可能となり、エンジン関連を中心に国内重工業大手との取引拡大を狙う。特に疲労試験は国内で2社目の認証を受けており、これまで海外に流れていた分の取り込みも含め、需要が見込めるという。国内の航空機産業は、中小型の国産ジェット機の開発や、ボーイングをはじめ大手の外注生産拡大で成長分野とされる。

同社は年内にも、産業集積地の中部圏域に営業拠点となる事業所を開設し、航空機関連で現在約5千万円の年間売り上げを、3年後には3億円に引き上げる計画。木口順一郎総務部長は「国内での実績を基に、将来的には海外取引も進めていきたい」としている。

Nadcap日本事務所(愛知県春日井市)によると、山陰での認証取得は日立金属安来工場(同市安来町)に次いで2例目となる。